

# 平成28年度 基本評価調書

施策名	道産食品の輸出拡大	所管部局	経済部	作成責任者	食産業振興監 小野塚 修一	施策コード	05	03
		照会先	食関連産業室輸出戦略グループ 011-204-5138(26-823)	関係課	経済部食関連産業室			

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		2	経済・産業	(5)海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展		アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大		道産食品輸出額
	北海道創生総合戦略	A3134,A3191,A3213,A3216,A3217,A3221,A3811,A3821,A3822,A3823,A3824,A3961,A4124	北海道強化計画		B4441,B5213	新・北海道ビジョン	C00101,C00102,C00103,C00104,C00105,C00106,C00107,C00108,C00109,C00201,C00202,C00203,C00301,C00302,C00303,C00304,C00305,C00306,C00307,C00308,C00309,C00310,C00311,C01202,C01506,C02204,C02701,C02704,C02705,C02706,C02707,C02708,C05804	
	特定分野別計画等	北海道食の輸出拡大戦略						
現状と課題	<p>・北海道の輸出額はH21年からH24年まで300億円台で推移。海外における需要の高まりなどからホタテやサケなど水産物等の輸出額が増加し、H26年は663億円となった。さらに、H27年は水産物の一層の輸出増加に加え、青果物や菓子類の輸出が増加したことにより、773億円と過去最高水準。輸出額の約9割は水産物・水産加工品が占めている。</p> <p>・輸出額の増加に向けた主な課題は、生産については取組企業の拡大や衛生条件や市場ニーズなどへの対応、物流についてはコスト削減や鮮度保持、販売については輸出先国の規制や販路開拓、継続取引、ブランド構築などが挙げられる。</p>			施策目標	<p>・北海道食の輸出拡大戦略に基づき、商流・物流網の整備、輸出支援体制の確立、機能性食品市場やイスラム圏市場といった成長が期待される新たな市場への展開などといった施策を品目別、国・地域別などの展開方向に沿って進め、道産食品の輸出拡大を促進することによって、道内各地の資源を生かして海外需要を積極的に取り込み、力強い地域経済の構築を図る。</p>			
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>{道}</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における企業や団体など関係者との連携体制を構築し、取組を支援</li> <li>輸出拡大に向けた総合的支援体制の確立</li> <li>主要輸出先国における衛生基準、食品の規格・基準情報の収集・提供</li> <li>北海道の特性に応じた市場開拓の先導</li> <li>海外に市場拡大に向けた北海道ブランドの一体的発信</li> <li>フード特区の取組の推進・特区制度の活用検討</li> </ul> <p>{国(出先機関)}</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>証明書の発行や諸外国への働きかけなど輸出環境の整備</li> <li>民間や地域の取組のバックアップ</li> </ul>			支援機関	<p>国や道との連携による相談対応</p> <p>現地市場情報の提供</p> <p>規制等に関する情報提供</p>		施策の予算額	
				民間	<p>海外市場ニーズに合致した輸出品の生産・開発・供給</p> <p>商談会等の機会を活用した積極的な販路開拓</p>		H27	0
							H28	0
今年度の主な取組 (主要指標に係る取組 :その他の取組)	<p>[商流・物流網の整備]</p> <p>コメ、青果物、牛肉などで関係者からなるプラットフォームを構築して、テスト輸出や商談会を実施</p> <p>ブリ、サバ、などで消費者ニーズ調査や現地でのテスト販売を実施</p> <p>道、ホクレン、ぎょれんの連携による海外マーケット調査やプロモーションを実施</p> <p>輸出事務に精通するアドバイザーを海外と道内に配置し、輸出に取り組む道内食関連企業を支援</p> <p>航空貨物物流を強化するための方策の検討などを行う調査事業を実施</p> <p>北極海航路の利活用に向けた輸送モデル等の検討などを実施</p>			<p>[輸出支援体制の確立]</p> <p>海外アンテナショップでのテスト販売等を通じた商品の磨き上げや、現地PRイベントを実施</p> <p>ASEAN等を対象とした商談会の実施、各種メディアを活用して情報を発信(クール北海道)</p> <p>アドバイザーの設置による商品発掘やフェア・商談会の実施など、極東地域に進出意欲のある企業を支援</p> <p>事務所を通じて、市場ニーズの把握から販路開拓など、企業等の活動を支援[シンガポール、上海、サリンなど]</p> <p>道と札幌市が連携し、相互の海外事務所を活用するとともに、テスト輸出や商談会などを実施</p> <p>ベトナムにおいて、北海道の魅力を発信するセミナーや道産品のフェア、商談会を開催</p> <p>HACCPによる自主衛生管理の導入の促進による、道産食品のブランド力の強化</p> <p>海外市場への信頼回復に向けた道産水産物の安全性PRや水産加工場のHACCP認定取得の促進</p>				
				<p>[新たな市場への展開]</p> <p>イスラム圏市場の開拓や、機能性食品、スイーツについて、テスト輸出や現地での商談会を実施</p> <p>地域発の市町村、企業、生産者などが一体となったプロジェクトチーム設置により輸出の取組を支援</p>		H29		

# Do & Check 施策評価

## 1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
実 績 と 成 果 等		総合戦略	強靱化	ビジョン
コメ、青果物、牛肉の輸出拡大に向けたプラットフォームを設置し、生産者団体をはじめ関係者によるテスト輸出や商談会の開催に向けた連携体制が構築された。		A 3134		C00310 C00107 C02705
ブリ、サバやサケ加工品などに係るシンガポール、香港などを対象とした消費者ニーズの調査を実施、今後のテスト販売に向けた基礎資料を収集している。		A 3191		C00311
企業支援に向けたアドバイザーを海外(シンガポール、タイ)と道内に配置し、輸出に取り組む企業に対する相談、商流構築、物流のアレンジが可能な支援体制を整備した。		A 3213		C00102
航空貨物による輸出物流の実態や北極海航路の利活用の検討に向けた調査を実施し、効率的・効果的な輸出物流を検討する基礎資料を収集している。		A 4124 A 3823	B 4441 B 5213	C00306 C00203
シンガポールにおける「北海道さんこプラザ」の運営や、バンコクへのアンテナコーナーの設置により、輸出に取り組む道内の事業者における海外向け商品改善や現地での商品PRの支援体制を整備した。		A 3213		C00103
ASEAN(シンガポール)、上海、サハリン、ソウルに設置する海外現地事務所において、道内自治体や金融機関等と連携・協働するなどし、現地情報の収集・提供や道内事業者による現地での取組に連携・支援することにより、現地における道内事業者の販路拡大につながった。		A 3213		C00302
HACCPなど衛生管理手法の導入促進に向けた説明会や企業等への個別指導を行うことにより、衛生管理手法を導入する企業等が増加した。		A 3217		C00303 C00108
北海道産スイーツの海外展開に向けたフォーラムを開催することにより道内菓子メーカーにおける海外展開への関心が高まるとともに、フォーラムの開催に併せて海外バイヤーを招へいた商談会を実施することにより意欲のある道内菓子メーカーの海外取引拡大を促進した。		A 3213		C00301
地域発の市町村、地域の企業・生産者・メーカー、振興局等が一体となった海外展開を支援(6か所)し、地域の事業者における輸出拡大を促進した。		A 3213		C00301
28年7月より北海道さんこプラザシンガポール店でのテスト販売を開始した。9月にはタイ・バンコク市内の百貨店に道産品アンテナコーナーを開設し、道産品のPRと併せて、現地での市場ニーズを把握し、道内企業の販路拡大を支援していく予定。11月には、シンガポールにおいて、現地飲食店等に対して道産食材のプレゼンテーションを行うイベントを開催する予定。		A3213		C00101,C00102,C00103,C00106,C00301,C00302
ドバイやトルコにおける道産食品の商談会の開催や牛肉等のテスト輸出の実施など、道産食品の新市場開拓に取り組んだ。		A 3212		C00301
輸出に取り組む事業者等による食品の高付加価値化や商品開発の促進に向けて取り組んだ。		A 3216 A 3221		C00104
ベトナムにおいて、北海道の魅力を発信するセミナーや道産品のフェア、商談会を開催する。		A 3811		C02701
ヘルシーDoなど道産機能性食品の開発や販路開拓を進め、新たな品目に係る輸出の拡大を図っている。		A 3212		C00105
道と札幌市の連携、海外事務所の相互活用、イスラム圏市場の開拓、ベトナムの道産品フェアなどの取組の実績・成果を追加してください。				
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	<p>「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の充実・発展に向けた支援の拡充や、食クラスター活動の展開に対する支援の強化、道産食品の輸出拡大に向けた環境整備の推進などについて、必要な要望を国に対して実施した。(平成27年7月)</p> <p>・農畜産物・水産物・加工食品の輸出拡大に向けた環境整備や食のブランド化の推進など、道産食品輸出1,000億円の実現に資する取組の推進について、内閣府、厚生労働省、農林水産省、経済産業省に提案・要望した。(平成28年8月)</p> <p>・輸出相手国における輸入条件等の緩和や中国向け輸出に対応した米施設への指定に向けた国家間交渉を推進すること、輸出に取り組む意欲のある個別の生産者団体等が行う研修会や海外における輸出プロモーション、各種資料の翻訳等に係る費用への補助等の支援を行うことについて、農林水産省に提案・要望した。(平成28年8月)</p>	施策に関する道民ニーズ	<p>・食関連企業経営意識調査(北海道食関連産業室)では、海外展開に当たり支障な点として、市場情報の不足、物流コスト、輸出手続、信頼できる商社との連携不足などが挙げられた。(平成28年4月実施、食品製造業、卸・小売業など道内119社から回答)</p> <p>・平成28年6月に実施した輸出企業へのヒアリング調査では、道産食品の輸出拡大に必要なものとして、現地販売価格の引き下げ、ブランドの浸透、物流コストの削減、インバウンド需要の取り込み、地域が一体となったPR、継続取引の拡大といった意見が寄せられた。</p> <p>・これらの意見を踏まえ、事業間連携による支援体制の充実、きめ細やかなフォローアップによる継続取引の促進、地域が一体となった海外展開への支援など関連する取組の効果的な推進を図っている。</p>	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	商流の構築に向けて、関係施策の推進に当たり海外アドバイザーなど支援機能を活用する。	N0601 N0602	農政部食の安全推進局食品政策課	食の輸出拡大戦略推進本部員会議ワーキンググループ会議において関係部局の取組内容について情報共有を行うとともに、効果的な取組に向けた事業間連携について調整を行った。
		N0704	水産林務部水産局水産経営課	
	海外アンテナショップを活用し、関係施策における輸出向け商品の選定、開発など企業や地域における海外向けマーケティング活動を支援する。	N0601 N0602	農政部食の安全推進局食品政策課	食の輸出拡大戦略推進本部員会議ワーキンググループ会議において関係部局の取組内容について情報共有を行うとともに、効果的な取組に向けた事業間連携について調整を行った。 シンガポールでの道産食材PRイベント等の実施にあたり、農政部及び水産林務部の海外販路拡大事業と連携して取組を実施することを検討している。
		N0704	水産林務部水産経営課	
		N0501	経済部食関連産業室	
		N0502	経済部食関連産業室	
	地域と連携した海外との経済交流の推進により、「食」の北海道ブランドの一層の確立を図る。	N0205	総合政策部国際課	食の輸出拡大戦略推進本部員会議ワーキンググループ会議において関係部局の取組内容について情報共有を行うとともに、効果的な取組に向けた事業間連携について調整を行った。
		N0508	経済部国際経済室	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3 - 2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37					
道産食品輸出額(億円)(暦年)	基準値	663	目標値	833	最終目標値	1,500	年度	H27	H28	進捗率		特定分野別計画である「北海道食の輸出拡大戦略」においては、輸出環境の変化等に対応しながら、平成30年に目標達成を目指すものとして生産者団体等関係機関・団体との合意形成を図っているほか、道民意見募集においても同様の目標設定を行っているため、中間年の目標は設定していない。このため、本指標の達成度合については総合計画における進捗の目安として目標値を設定しており、関係者と一体となった取組により、順調に推移している。
		根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	748.0	833.0	1500.0		
	北海道総合計画 北海道食の輸出拡大戦略	増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		実績値	773.0	-	773.0			
						達成率	103.3%	-	51.5%			

本施策に成果指標を設定できない理由	判定	A	B	C	D	-	結果
	(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標	1					
	関連指標						



5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析 (具体的成果・連携状況)	判定
主要指標		<p>&lt; 道産食品輸出額 [A] &gt;                      特定分野別計画である「北海道食の輸出拡大戦略」においては、輸出環境等の変化に対応しながら、平成30年に目標達成を目指すものとして生産者団体等関係機関・団体との合意形成を図っているほか、道民意見募集においても同様の目標設定を行っているため、中間年の目標は設定していないが、総合計画における進捗の目安として設定した目標値と比較し、関係者と一体となった取組により順調に推移している。</p>	<p>&lt; 施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか &gt;                      ・「北海道食の輸出拡大戦略」に掲げる、商流・物流網の整備、輸出支援体制の構築、新たな市場への展開という3つの基本戦略ごとに、品目別、国・地域別展開方向に沿って効果的な取組が推進されている。</p> <p>&lt; 施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか &gt;                      ・道産食品の輸出拡大に向けた環境整備などについて国に提案・要望を行った結果、対EU・対米・HACCP認定施設設備に向けた補助金の確保や、相手国による輸出施設の認定に向けた手続の円滑化により施設の認定が進み、輸出基盤の基盤につながった。</p>	
関連指標			<p>&lt; 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか &gt;                      ・「北海道食の輸出拡大戦略」の策定に当たっては、輸出に取り組む企業からのヒアリングや支援機関・生産者団体などの参加による食クラスター連携協議体輸出タスクフォース会議において意見を聞き、その内容を戦略に反映させた。                      ・「北海道食の輸出拡大戦略」の推進に向けて関係者による「道産食品輸出拡大戦略推進協議会」を設置し、関係機関・団体等の協議・調整・連携を行いながら関連する施策を推進している。                      ・輸出に取り組む事業者等へのヒアリングに随時取り組み、その結果を施策の効果的な推進につなげている。</p> <p>&lt; 施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか &gt;                      ・「食の輸出拡大戦略推進本部員会議」などを通じ、常に関係部局と連携した取り組みを行うとともに、各品目の輸出拡大、安定した販路の構築、海外における北海道ブランドの浸透などにおいて、関係部と連携した成果を確認できる。</p>	+ 評価

総合評価	概ね順調に展開	評価の概要	指標の達成度合が順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	-------	----------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性 (対応方針)			(関連する計画等)		
方針	総合戦略	強靱化	ビジョン		
平成30年に1,000億円という目標の達成に向けては、足下で輸出額が落ち込んでいる主力の水産物・水産加工品について資源の回復を含めた安定的な輸出額の拡大を図ることはもとより、H28年1～6月で前年同期を上回る推移となっている農畜産物・農畜産加工品、その他加工食品の伸びを加速する必要がある。	A3134 A3191 A3213		C00310 C00311		
安全・安心で高品質な道産食品をより適正な価格で現地で流通させるため、物流コストの低減や継続的・安定的な商流の構築などに向けた支援を進める。	A4124 A3213	B4441	C00305 C00203 C00307		
輸出に取り組む事業者の拡大や一層の販路開拓に向けて、関係支援機関の連携体制の強化、食クラスター活動やフード特区の取組による地域における食品の高付加価値化や商品開発の促進、地域間・産業間連携の強化、地域が一体となった輸出拡大の取組やプロモーションの支援など輸出支援体制の充実に努める。	A3213 A3216 A3221		C00104 C00301		
地域における輸出体制の一層の構築に向けて、HACCP認定施設など輸出関連施設の一層の拡大に向けた取組を進める。	A3217 A3191		C00108 C00303 C00304		
平成30年に1,000億円という目標の確実な達成に向けて、イスラム圏市場や機能性食品といった道産食品の新たな市場の開拓を着実に進める。	A3213		C00105 C00301 C00308		

施策名	道産食品の輸出拡大	施策コード	05	03
-----	-----------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策間の連携状況(関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要)】 総合計画における「海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展」を進める観点から、総合政策部と経済部の連携により、より効果的な取組を検討すること。
------	---

平成28年度 基本評価調書

施策名	道産食品の輸出拡大	施策コード	05 - 03
-----	-----------	-------	---------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05031799	食の輸出拡大戦略に係る推進管理事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05031800	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(道産食品販路拡大推進事業)	05031900 05032000 05032500				-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討	フェアのPRについて、クロスメディア観光プロモーション事業の活用を検討すること。	縮小	フェアのPRが必要となる場合は、観光など他の分野の情報発信ツールと連携する。
05031900	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(新規市場食需要開拓推進事業)	05031800 05032000 05032500				-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討		縮小	
05032000	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(道産スイーツ海外ブランド強化事業)	05031800 05031900 05032500				-	継続(統合)	見直し検討(連携関連)	見直し検討	来年度の事業構築に当たっては、海外での情報発信に当たり、同一国で展開する食や観光のWEB、SNSとの相互連携を検討すること。	縮小	海外向け情報発信に当たり、道の海外事務所が運用するweb媒体と連携する。
05032500	戦略産業雇用創造プロジェクト事業費(海外アンテナショップ活用による道産食品販路拡大事業)	05031800 05031900 05032000				-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討		現状維持	



施策名	道産食品の輸出拡大	施策コード	05	03
-----	-----------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p>&lt;新たな取組等&gt; 農畜産物に係る品目別プロモーションの実施や複数品目による通年輸出体制の構築など、販路拡大に向けて取り組む。（道産農畜産物輸出拡大プロモート事業）</p> <p>&lt;廃止・縮小、見直しを行った取組等&gt; 道産スイーツの海外販路開拓支援に向けた海外バイヤー招へい事業について、他事業との連携により一層の事業効果を発揮できるよう招へい時期を見直し（道産スイーツ海外ブランド強化事業）</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt; 民間企業等と連携し、小口貨物の混載輸送の実践を通じて課題等の検証を実施。（道産食品輸出拡大に向けた小口貨物混載輸送検討事業）</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt; 平成28年6月に設置した「道産食品輸出拡大推進協議会」を活用し、関係機関が連携した取組を進めている。 平成28年11月にシンガポールで開催した「プレミアム食材商談会」において農政部、水産林務部、経済部の事業が連携し、水産品・農畜産品・加工食品を一堂に集め提案・商談を実施するなど効果的な取組を展開しており、今後とも部間連携を進める。</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt; 引き続き、水産加工場における対EU、対米HACCPの認定取得に向けた説明会を開催するほか、食品関係施設におけるHACCPによる自主衛生管理の導入促進に向けた指導等を行う。（衛生管理対策・ホタテガイ海域拡大管理推進事業費、HACCP推進対策費）</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt; 中東向けの取組について、多様な品目に係るテスト輸出や商談会の開催や国等が実施する地域の魅力発信の取組等と連携し、市場開拓の加速を図る。（新規市場食需要開拓推進事業）</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策間の連携状況（関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要）】	総合政策部が実施する商流・物流網の整備、海外向けプロモーション、海外との友好提携などの取組を活用し、海外に向けた道産食品の魅力発信の効果的な実施を図る。（経済交流拡大推進事業）		

平成28年度 基本評価調書

施策名	道産食品の輸出拡大	施策コード	05 03
-----	-----------	-------	-------

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	4 事業	事業	1 事業	事業	事業	事業	事業	5 事業
反映結果	事業	事業	2 事業	3 事業	事業	事業	事業	5 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
0 事業